牛 肉 情 勢

9月12日 更新　JA全農ミートフーズ株式会社

項目		内容
供給	1.国産	○ 7月の成牛と畜頭数は、99.1千頭(前年比99.1%)と前年並みとなった。 内訳を見ると、和牛:53.0千頭(前年比103.8%)、交雑牛:22.8千頭(同101.0%)、乳牛去勢:9.2千頭(同80.9%)となった。 ○ 8月の成牛と畜頭数は、速報値(8月31日まで集計)で76.9千頭(前年比93.5%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(8月27日公表)によると、8月、9月の出荷頭数は、交雑種が増加するものの、和牛および乳用種の減少が見込まれることから、 前年同月を下回ると予測する。(8月 78.8千頭(前年比95.4%)、9月 89.2千頭(同98.5%)) 3か月平均(7月～9月)では、出荷頭数88.7千頭(前年比97.3%)、生産量28.1千ﾄﾝ(同97.8%)と前年同期を下回る予測となっている。
	2.輸入	○ 7月の輸入通関実績は、全体で46.9千ﾄﾝと前年を下回った。(前年比95.1%、前月比111.1%)。 内訳ではチルド:17.1千トン(前年比90.6%、前月比121.2%)、フローズン:29.8千ﾄﾝ(前年比97.9%、前月比106.1%)となった。 輸入相手国別では、チルドはカナダが増加した。フローズンは米国、カナダが増加した。 (参考:形態別相手国別輸入数量) チルド　:豪州9.2千ﾄﾝ(前年比94.4%)、米国6.6千ﾄﾝ(同85.5%)、カナダ0.6千ﾄﾝ(同139.6%)、ニュージーランド0.6千ﾄﾝ(同78.8%)、メキシコ0.1千ﾄﾝ(同83.1%) フローズン :豪州13.1千ﾄﾝ(前年比77.7%)、米国11.0千ﾄﾝ(同166.4%)、ニュージーランド2.6千ﾄﾝ(同90.9%)、カナダ2.3千ﾄﾝ(同127.5%)、メキシコ0.4千ﾄﾝ(同23.3%) ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、国内需要が低迷にある中、為替や現地価格が高止まりの影響等により、チルドの8月は米国産の減少が見込まれることから、9月はほとんどの輸入先の減少が見込まれることから、下回ると予測する。フローズンは、8月は現地価格の高止まり等により、米国産を除くほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれることから前年同月を下回ると予測する。9月は輸入量が減少傾向にある中、前年同月比で豪州産・米国産の増加が見込まれることから前年同月を上回ると予測している。3か月平均では、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和7年8月　合計:43.2千ﾄﾝ(前年比88.3%)、チルド:15.9千ﾄﾝ(同99.5%)、フローズン:27.3千ﾄﾝ(同83.0%) 令和7年9月　合計:38.3千ﾄﾝ(前年比100.3%)、チルド:14.6千ﾄﾝ(同94.9%)、フローズン:23.7千ﾄﾝ(同104.1%) 直近3か月(7月～9月)平均 合計:43.1千ﾄﾝ(前年比94.7%)、チルド:15.9千ﾄﾝ(同94.8%)、フローズン:27.2千ﾄﾝ(同94.8%)
需要	1.家計消費	○ 総務省発表の7月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり牛肉購入量は438g(前年比106.6%)、支出金額が1,588円(同102.2%)となり、 購入量、支出金額は前年同月を上回った。
	2.小売動向 7月概況	○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の7月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,195.2億円(前年比104.4%、既存店ベース103.1%)と前年を上回った。 全般的に相場高が続き、牛肉の不振と豚肉・鶏肉への需要シフトが継続している。牛肉は国産、輸入ともに高値推移が続き苦戦傾向だが、猛暑を追い風に週末BBQ、 焼肉需要は好調。味付肉の動きも良かった。豚肉は冷しゃぶ用が伸長も、国産豚の価格高騰が続き、輸入豚が好調に推移した。鶏肉も価格高騰が続き伸び悩んだ。 ○ 日本チェーンストア協会が公表した7月販売概況によると、畜産品の売上は829.7億円(店舗調整後で前年比102.1%)となり、前年を上回った。 豚肉、鶏肉の動きは良かったものの、牛肉は鈍かった。鶏卵、ハム・ソーセージの動きは良かった。
	3.外食 7月概況	○ 日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査7月度結果報告によると、6月に引き続き「記録的な暑さ」となり、冷たいメニューやビール類、飲料などが好評となった。 猛暑の影響は一部で客足にマイナスとなる一方で、「涼を求める」外食動機も増え、夏休みの行楽需要もあり、大型商業施設立地店舗では安定した集客につながった。 業態別; ①ファーストフード　前年比109.7%　各種CPや期間限定商品、お得なランチメニューが好調。夏休みに入り集客が改善した業態もあり売上は好調 ②ファミリーレストラン　前年比107.6%　季節メニューや地域別の販促が好評で一定の集客はあった。焼肉店は猛暑で客足減少となったが、単価の上昇により売上伸長 ③ディナーレストラン　前年比105.3%　インバウンド需要の勢いは落ち着いたが、引き続きお得感のある平日ランチメニューが好評 ④居酒屋　前年比103.8%　猛暑で各社ビール類の販売が好調だった。客数も前月より改善傾向にあり、売上伸長
	4.輸出	○ 7月の輸出実績は972.4ﾄﾝ(前年比130.0%)と前年を上回った。台湾向け(190.3ﾄﾝ、前年比102.3%)、香港向け(176.7ﾄﾝ、前年比140.1%)、 米国向け(161.6ﾄﾝ、前年比191.1%)となった。また、カンボジア向け(91.9ﾄﾝ、前年比170.4%)は前年を上回ったが、不安定な状況が続いている。
在庫	1.在庫	○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、7月末の推定期末在庫量は152.2千ﾄﾝ(前年比100.1%、前月比103.1%)と前年並みとなった。 内訳は、輸入品;141.8千ﾄﾝ(前年比100.8%、前月比102.4%)と前年並み、国産品;10.3千ﾄﾝ(同91.6%、同113.2%)と前年を下回った。 なお、今後の期末在庫の推移は、8月末;154.1千ﾄﾝ(同97.4%)、9月末;152.4千ﾄﾝ(同97.8%)と8月、9月は前年を下回ると見込まれている。
枝肉相場	1.R7年8月 速報値	○ 8月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;8月31日時点)は、和牛去勢A5が2,333円(前年比101.3%)、A4が2,063円(同104.4%)、交雑去勢B3が1,568円(同100.3%)、 乳牛去勢B2が1,136円(同107.5%)であった。
	2.R7年9月 予測	○ 8月の相場は、和牛・交雑ともに消費者の節約志向が継続している中で、酷暑の影響から例年よりBBQや焼肉需要が伸び悩んだことで、前年は上回ったが 前月は下回った。乳牛去勢牛は、輸入牛肉代替需要が継続しているものの牛肉全体の需要の伸び悩みにより前年は上回ったが前月は下回った。 ○ 9月の相場は、和牛は、消費者の節約志向が継続すると想定されるものの、出荷頭数の減少が予想されていることから需給が引き締まり強含みを見込む。 交雑は、和牛代替需要は継続するものの出荷頭数の増加が想定されるため、横ばいを見込む。 乳牛去勢牛は、輸入牛肉代替需要は継続しているものの、限定的であることから横ばいを見込む。

◎ 枝肉相場予想:東京市場【税込】

	7月実績		8月速報値		9月予測		10月予測	
・和牛去勢 「A-5」:	2,458円	(104.5%)	2,333円	(101.3%)	2,350円	(97.7%)	2,450円	(99.2%)
・和牛去勢 「A-4」:	2,155円	(109.4%)	2,063円	(104.4%)	2,100円	(101.6%)	2,150円	(102.8%)
・交雑去勢 「B-3」:	1,609円	(103.3%)	1,568円	(100.3%)	1,550円	(97.4%)	1,600円	(102.4%)
・乳牛去勢 「B-2」:	1,224円	(119.5%)	1,136円	(107.5%)	1,150円	(106.7%)	1,150円	(111.0%)

※左記相場実績・予想値の括弧内は前年同月比

部分肉相場	1.R7年9月 予測	◎ 首都圏仲間価格【税抜】　【和牛:4等級】　【ホルス:2等級】　【交雑牛:3等級】 ・和牛カタセット(スネなし) : 3,100円　・ホルスカタセット(同) : 2,000円　・交雑牛カタセット(同) : 2,500円 ・和牛ロースセット(ヒレなし): 5,500円　・ホルスロースセット(同): 3,500円　・交雑牛ロースセット(同) : 4,500円 ・和牛モモセット(スネなし) : 3,600円　・ホルスモモセット(同) : 2,000円　・交雑牛モモセット(同) : 2,300円 ・和牛トモバラ : 2,000円　・ホルストモバラ : 1,350円　・交雑牛トモバラ : 1,500円

備考

○国内生産量の推移(単位:千頭・%)

暦年	和牛計 頭数	和牛計 前年比	交雑牛計 頭数	交雑牛計 前年比	乳牛去勢計 頭数	乳牛去勢計 前年比	成牛計 頭数	成牛計 前年比
R3年	483.1	101.2	228.9	100.5	154.5	95.6	1,054.6	100.7
R4年	490.2	101.5	248.6	108.6	140.8	91.4	1,083.1	103.0
R5年	506.7	103.5	262.1	105.5	131.5	93.5	1,098.7	101.7
R6年	542.4	107.0	255.6	97.7	127.8	97.0	1,109.6	101.0
R7年　4月	48.0	103.1	22.7	101.6	9.1	81.3	94.9	98.3
R7年　5月	43.1	102.0	20.1	97.2	8.9	81.9	84.6	96.1
R7年　6月	44.2	106.1	20.7	105.3	8.7	80.0	85.8	101.3
R7年　7月	53.0	103.8	22.8	101.0	9.2	80.9	99.1	99.1

※成牛計は、乳牛雌やその他品種も含まれるため数字が一致しない

○輸入量の推移(単位:千ﾄﾝ, %)

暦年	輸入数量合計 数量	輸入数量合計 前年比	チルド数量 数量	チルド数量 前年比	フローズン数量 数量	フローズン数量 前年比
R3年	585	97.4	264	100.9	321	94.7
R4年	560	95.4	217	83.0	343	104.3
R5年	504	90.9	199	92.6	305	91.3
R6年	526	105.1	197	99.2	329	109.9
R7年　4月	53.1	84.0	14.9	81.7	38.3	84.9
R7年　5月	48.4	99.8	16.2	91.3	32.2	104.7
R7年　6月	42.2	88.8	14.1	79.7	28.1	94.3
R7年　7月	46.9	95.1	17.1	90.6	29.8	97.9

＊財務省:通関実績

○総務省:家計消費量(ｸﾞﾗ, 円, %)

暦年	全国1世帯当り 数量	全国1世帯当り 前年比	全国1世帯当り 金額	全国1世帯当り 前年比
R3年	6,748	93.7	23,210	98.0
R4年	6,232	92.4	22,355	96.3
R5年	5,867	94.7	21,451	95.9
R6年	5,563	94.9	21,319	99.3
R7年　4月	439	97.6	1,618	101.0
R7年　5月	445	93.3	1,755	97.8
R7年　6月	437	101.9	1,596	99.1
R7年　7月	438	106.6	1,588	102.2

○輸出量の推移(単位:ﾄﾝ、%)

暦年	チルド数量	フローズン数量	合計	前年比
R3年	3,490	4,388	7,879	162.6
R4年	3,737	3,717	7,454	94.6
R5年	4,222	4,199	8,421	113.0
R6年	4,777	5,336	10,113	119.3
R7年　4月	487.7	471.6	959.4	123.2
R7年　5月	381.4	470.4	851.8	154.1
R7年　6月	436.7	529.3	965.9	125.1
R7年　7月	443.3	529.0	972.4	130.0

○市況の推移: 東京市場(税込み、単位:円/kg、%)

暦年	和牛去勢A-5 価格	和牛去勢A-5 前年比	和牛去勢A-4 価格	和牛去勢A-4 前年比	交雑牛去勢B-3 価格	交雑牛去勢B-3 前年比	乳牛去勢B-2 価格	乳牛去勢B-2 前年比
R3年	2,702	109.9	2,427	115.4	1,554	111.1	1,004	108.6
R4年	2,607	96.8	2,348	96.9	1,523	98.1	1,042	102.4
R5年	2,558	98.1	2,202	93.8	1,474	96.8	878	84.3
R6年	2,493	97.4	2,162	98.1	1,566	106.4	1,004	116.4
R7年4月	2,510	100.6	2,269	104.8	1,612	100.4	1,185	128.0
R7年5月	2,486	100.7	2,266	106.8	1,625	102.8	1,177	118.8
R7年6月	2,410	101.3	2,101	105.7	1,545	102.3	1,201	118.4
R7年7月	2,458	104.5	2,155	109.4	1,609	103.3	1,224	119.5
R7年8月速報値	2,333	101.3	2,063	104.4	1,568	100.3	1,136	107.5

農水省食肉流通統計

(速報値は農畜産業振興機構が公表する東京市場の平均枝肉価格)